



A.M. 国際教養学科 3 年次生

参加期間： 2014 年 2 月 15 日～3 月 16 日（4 週間）

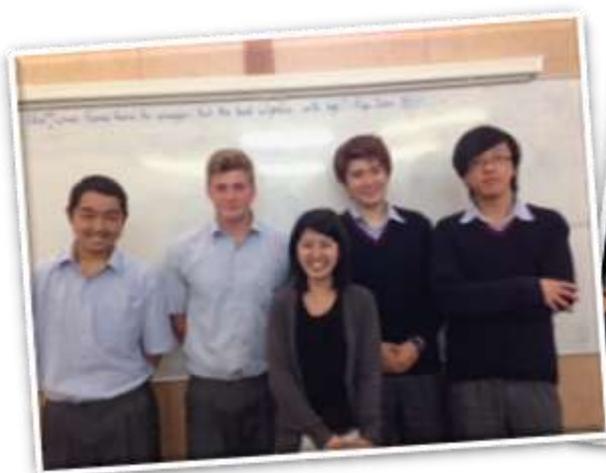
受入校： Hutt International Boys' School (Upper Hutt)

I. プログラムについて

ニュージーランドに到着して初めの 1 週間は、Wellington 市内の Making Futures Happen Academy にて語学研修を受けました。初日に英語のテストを受けて自分のレベルにあったクラスに入りました。5 日間というとても短い期間でしたがクラスメイトとはとても仲良くなり、毎日みんなでさまざまなトピックについて意見をぶつけ合う授業形式で楽しかったです。2 週間目は OKC（オセアニア交流センター）で日本語指導について学びました。先生のお子さんや教え子の方に対して実際に模擬授業をしたり、Victoria University に行ったりして、日本語教育現場の実情など本当に役に立つさまざまなことを学びました。



最後の 2 週間は HIBS（Hutt International Boys' School）で教育実習をしました。男の子たちはとても元気で圧倒されることもありましたが、本当に楽しんで日本語を学んでいる姿を見てとてもうれしくなりました。休み時間に話に来てくれたり、生徒に New Zealand のことや若者英語を教えてもらったりしました。また、1 人で授業をする機会をたくさん与えていただき毎日学ぶことばかりの充実した 2 週間でした。





Ⅱ. ニュージーランドでの生活について

1 か月で2つのホストファミリーにお世話になりました。毎日一緒にご飯やおやつをつくったり、休みの日はドライブやパーティーに連れて行ってもらったりと、とても楽しい日々でした。Teaを飲みながらゆっくりたくさんのことについて話をした夜の時間が大好きでした。どちらのファミリーも2週間ずつでしたが、娘のように接してくれ、本当の家のようにくつろげ、別れるときは涙がでるくらい悲しかったです。また、日本語研修時の先生や模擬授業の生徒さんと買い物に行ったり、HIBSの先生方とラグビーを見に行ったりとNew Zealandならではの体験もできました。

Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

クラスメイト、先生方、生徒、New Zealand で出会った方はとても親切でフレンドリーでした。迷子になって道を聞いたコンビニのおじさんは、以来コンビニ行くたびに教育実習はどうかと励ましてもらいました。バスや電車でも地元の方はたくさん話しかけてくれたので、そんな機会を無駄にせず楽しんでほしいです。1 か月は短かったですけど本当にたくさんのことを学びました。素敵な出会いもたくさんあり、行って良かったと心からおもえる実習になりました。授業で実際に伝えたいことなど具体的に考えて、これがやりたいとぜひ伝えてみてください。より充実した実習にすることができると思います。

Wellington は風が強いと聞いていましたが、想像以上で2月でもとても寒かったです。もっと暖かい服を持って行くべきでした。

